

15 番	池田 信子 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
1. 管理不全な民有地（空き地、空き家等）による市民生活への影響と対応について 【質問趣旨】 管理不全な民有地では、雑草や樹木の繁茂により、道路や歩道の通行に支障が生ずる他、害虫、へビ等の爬虫類、害獣の発生、不法投棄等、周辺住民の生活環境や安全に影響を及ぼす事例がある。 市民からは、「どこに相談すればいいのか」「所有者が分からない」「市の対応で所有者に通知してもらったが改善されない」「管理不全の民有地から道路や自宅にはみ出した草木を自分で切っても良いのか」といった声もある。 →次ページへ	(1) 管理不全な空き地への対応について (2) 管理不全な空き家への対応について	① 管理不全な空き地について、近年、市にはどの程度の相談が寄せられており、草木の繁茂、害虫・害獣・爬虫類の発生、不法投棄、道路への影響等、どのような相談が多いのか。また、相談を受けた後、現地確認や所有者への管理依頼等、どのように対応しているのか伺う。 ② 所有者が不明である場合や、管理を依頼しても改善されない場合には、どのように対応しているのか。また、市民生活への影響が大きい事案について、関係部署はどのように連携しているのか伺う。 ① 管理不全な空き家について、近年、市にはどの程度の相談が寄せられており、どのような内容が多いのか。また、空き家対策の推進に関する特別措置法等に基づき、相談を受けた後、どのように対応しているのか伺う。 ② 空き家による草木の繁茂、害虫・害獣等の発生、周辺環境への影響等について、関係部署はどのように連携して対応しているのか。また、所有者への働きかけを行っても改善されない場合等、現在の対応にどのような課題があると認識しているのか伺う。

- Ii 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

15 番	池田 信子 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
民有地の管理は所有者が行うことが基本であるが、管理不全による影響が市民生活に及ぶ場合には、適切な相談対応に加え、市民が正しい知識を持ち、適切に対応できるよう、制度や相談窓口（法律相談等）について分かりやすく情報発信し、啓発・周知を図ることも重要である。特に、令和5年の民法改正により、一定の要件のもとで越境し枝の伐採が可能となる等、市民が知っておくべきルールも変わっている。 そこで、管理不全な民有地について、相談・対応状況を確認するとともに、今後の取組みについて伺う。	(3) 相談後の対応と情報発信について	① 市民からの相談を受け、所有者に管理を依頼した事案について、その後の改善状況を確認しているのか。また、対応結果を相談者に伝えているのか伺う。 ② 民有地の適正管理や相談窓口（法律相談等）、民法改正により越境した枝の伐採が可能になったこと等について、市民が必要な情報を得られるよう、広報せと、市ホームページ、SNS等を活用した情報発信及び啓発・周知を充実させる必要があると考えるが見解を伺う。

- ii 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

15 番	池田 信子 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
2. 災害時におけるペット同行避難の実効性向上と「ペット防災手帳」の導入について 【質問趣旨】 近年、全国各地で大規模災害が発生しており、南海トラフ地震の発生も懸念される中、ペットを飼育する市民の防災対策は重要な課題となっている。環境省は、災害時にペットがともに避難する「同行避難」を基本としているが、実際の避難所運営においては、ペットの受入れ場所の確保、飼育ルールの徹底、健康状態の把握、飼い主と連絡が取れなくなった場合の対応等、平時から備えておくべき課題がある。 →次ページへ	(1) 本市のペット同行避難の現状と課題について (2) 「ペット防災手帳」の導入について	① 本市の地域防災計画におけるペット同行避難の位置付けと、避難所でのペットの受入れについて、現在どのような体制を整えているのか伺う。 ② ペット同行避難を想定した防災訓練の実施状況と、実際の災害時におけるペットの受入れや管理について、現在どのような課題を認識しているのか伺う。 ① 災害時の迅速な対応のため、ペットの写真、種類、年齢、健康状態、ワクチン接種歴、マイクロチップ情報、飼い主の連絡先等を平時から整理しておくことが重要と考えるが、市の見解を伺う。 ② ペットの基本情報に加え、緊急連絡先や一時的な預け先等も記録できる「ペット防災手帳」を本市が作成し、市民に普及させる必要があると考えるが見解を伺う。

- Ii 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

15 番	池田 信子 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
また、災害によって飼い主が負傷・入院する等、ペットの世話ができなくなる場合も想定する必要がある。 こうした状況に備えるためには、ペットの情報や飼い主の連絡先、緊急時の預け先等を平時から整理し、災害時に迅速に活用できる仕組みが必要である。 そこで、「ペット防災手帳」を活用し、飼い主自身の平時からの備えと、災害時のペット同行避難をつなげる取り組みについて、本市の見解を伺う。	(3) 「ペット防災手帳」を活用した実効性のある防災体制について	① 「ペット防災手帳」を避難所での受付やペット情報の確認に活用し、避難所におけるペットの受入れを円滑にする仕組みを整える考えはあるのか伺う。 ② 災害により飼い主がペットの世ができなくなった場合にも対応できるよう、関係機関と連携した一時的な保護・預かり体制を整える考えはあるのか伺う。 ③ 災害時、飼い主にとって大切な家族であるペットをどう守るのかは、避難を考える上でも大きな不安の一つである。だからこそ、災害が起きてからではなく、平時から飼い主と行政がともに備えておくことが重要である。「ペット防災手帳」は、そのための具体的なツールになると考える。そこで、「ペット防災手帳」の導入を第一歩として、飼い主と行政がともに備え、いざという時に実際に機能するペット同行避難の仕組みを構築していくことについて、市の考えを伺う。

- Ii 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。